

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成30年度末時点の検証

基本目標については、「出生率回復」と「子育て世代の転入出差」のいずれも中間目標値に届かず、未達成となった。

「出生率回復」については、一昨年度までは20～39歳女性人口が徐々に減少する一方で0歳児数は増加を続け、中間目標値を達成していたが、一転して0歳児数が大幅に減少し、戦略策定時を大きく下回るまで低下した。また、「子育て世代の転入出差」についても、これまでの増加傾向から一転して減少し、戦略策定時に人口ビジョンで示した「何も対策を講じなかった場合」の予測値と同じ水準となっている。

全国的に見ても、平成28年には出生数が100万人を割り、翌年もさらに減少している状況であり、施策を展開するも人口減少に歯止めがかからない状況である。また、府中町においても、住民基本台帳人口は微増を続けているものの、昨年度の状況を考慮すると、人口の増加傾向が一転し、新たに人口減少の局面に突入している可能性がある。

今後は、年度ごとの指標の評価だけでなく、中長期的視点で人口動態の推移を捉えた上で、次期計画策定に向けて分析を重ね、効果の押し上げに連動していない事業については再組み立てを実施すること等により、目標の達成に向けて実効性のある戦略としていくこととする。

<基本目標>（資料1参照）

①[出生率回復]

子育て世代女性100人あたり0歳児数 ●●●▶ 中間目標9.128人に対して実績8.36人

未達成

②[子育て世代の転入出差プラス]

子育て世代女性の転入出差 ●●●●●▶ 目標59人増に対して実績29人増

未達成

<重要業績評価指標(KPI)>（資料2参照）

12指標中、5指標が未達成。指標達成率58.3%。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本的方向	施策	重要業績評価指標（KPI）			施策の実施状況等	
		中間目標値	検証値	判定		
広島都市圏で一番の子育て支援	「孫育て」による保育の充実	保育所の一人当たり面積	2.614㎡	3.26㎡	達成	H29年度開始
	子どもに遊びを教える等のボランティア活性化	子ども向けボランティア活動回数	7回	9回	達成	完了
	児童センター等の子どもの居場所整備					
	「放課後児童クラブ(留守家庭児童会)」の充実	放課後児童クラブ利用児童数	601人	677人	達成	H28年度開始
	「放課後子供教室」の取組強化	放課後子供教室の当選割合	82.5%	71.6%	未達成※	H28年度開始
	質の高い教育の提供	学校の年間の県大会出場件数	44.2件	37件	未達成※	
	地域の国際力を活かした小中学校英語教育の充実	中学校卒業時の英検3級以上取得率	40.8%	41.1%	達成※	H28年度開始
	子どもの医療費負担の支援	助成対象の子どもの推定数	5,588人	5,769人	達成	H29年度開始
	子どもの感染症予防の推進	12感染症の年間発件数	343.6件	138件	達成	H28年度開始
不妊治療支援による希望する出産の実現	子育て世代女性100人あたり0歳児数	9.128人	8.36人	未達成※	H28年度開始	
子ども連れ家族の生活利便の向上	子ども連れ家族が移動しやすい歩行者空間整備	町内主要箇所の徒歩者等通行者数	2,220.8人	1,957人	未達成	
	子育て支援店舗等（おむつ交換台設置店など）の支援					
	公共施設等の子ども連れ利用の利便性向上					
	その他子ども連れ生活利便の向上					
	公共交通の利便性向上	町営コミュニティバスの年間利用者数	190,259.6人	185,471人	未達成※	H28年度開始
子どもに伝える地域の魅力の向上	観光散策の環境整備	レンタサイクルの年間延べ利用件数	200件	1,042件	達成	H28年度開始

※印付きの判定は前年から反転したものを示す。

基本目標の検証

総合戦略に記載した下記の基本目標について、ここでは平成31年4月1日時点での住民基本台帳登録人口の集計結果により達成状況を検証する。

<子育て支援分野>

【目標】国の長期ビジョンより10年早いペースでの出生率回復、つまり、子育て世代女性100人あたり0歳児数9.23人

区分	検証結果			目標値	判定	
	0歳児数	20～39歳女性人口	検証値			
現状値(H27.4.1)	535人	6,134人	8.72人	8.72人		
H28.4.1	521人	5,963人	8.74人	中間目標値	8.822人	未達成
H29.4.1	539人	5,920人	9.10人		8.924人	達成
H30.4.1	553人	5,837人	9.47人		9.026人	達成
H31.4.1	482人	5,768人	8.36人		9.128人	未達成
目標(R2.4.1)				9.23人		

出生率回復については、一昨年度までは20～39歳女性人口が徐々に減少する一方で0歳児数は増加を続け、中間目標値を達成していたが、一転して戦略策定時を大きく下回るまで低下し、中間目標値に届かず未達成となった。全国的に見ても、平成17年以降合計特殊出生率が若干回復傾向にある一方で出生数は減少を続けており、人口減少に歯止めがかからない状況である。これら課題を踏まえ、これからは人口減少対策の視点を第4次総合計画に位置付けて効果検証を行い、これまで以上に危機感を持って取り組んでいく必要がある。

<生活利便の向上・地域の魅力の向上分野>

【目標】子育て世代の転入出差を年間+30世帯、つまり、20～39歳女性が前年の19～38歳女性比で59人増

区分	検証結果			目標値	判定	<参考> 総人口
	当年20～39歳女性	前年19～38歳女性	検証値(差引)			
現状値	H23.4.1	6,597人	6,614人	17人減	5年平均 53.4人増	51,134人
	H24.4.1	6,466人	6,407人	59人増		51,266人
	H25.4.1	6,312人	6,227人	85人増		51,507人
	H26.4.1	6,201人	6,160人	41人増		51,579人
	H27.4.1	6,134人	6,035人	99人増		51,923人
H28.4.1	5,963人	5,980人	17人減	59人増	未達成	52,012人
H29.4.1	5,920人	5,896人	24人増		未達成	52,090人
H30.4.1	5,837人	5,783人	54人増		未達成	52,140人
H31.4.1	5,768人	5,739人	29人増		未達成	52,142人
R2.4.1						

子育て世代の転入出差については、これまでの増加傾向から一転して減少し、4年連続で未達成となった。昨年と比較して達成状況が悪化しているが、府中町人口ビジョンで示した予測（5年間で144人増、年平均で29人増）の水準を維持している状況である。

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) および関係施策の30年度末状況調査

基本的方向	施策	具体的な取組内容	重要業績評価指標 (KPI)										平成30年度末検証					
			項目	現状	検証値				中間目標値				目標値 (H31年度末)	具体的な取組の実施状況		KPI		
					H27末	H28末	H29末	H30末	H27末	H28末	H29末	H30末		検証値	判定	考察		
広島都市圏で一番の子育て支援	① 「孫育て」による保育の充実	祖父母が孫を保育する「孫育て」の支援	保育所の一人当たり面積	2.59㎡/人	2.67㎡/人	2.67㎡/人	3.09㎡/人	3.26㎡/人	2.596㎡/人	2.602㎡/人	2.608㎡/人	2.614㎡/人	2.62㎡/人	取組中	平成29年度から保育所等に代わって、近居(同居)の祖父母が児童を保育する場合の「プラチナ保育手当」の支給を開始し、平成30年度は対象児童は26人だった。また、平成30年度にのみみの風保育園が開園した。	3.26㎡/人	達成	【保育所の一人当たり面積】 保育園(ひかり保育園、第二府中ひかり保育園、若竹保育園、金剛保育園、ピッコロゴード保育園、認定つばめ、ニクストウモロランド、チエリ保育園、みなの風保育園)の合計面積3,855.70㎡、保育園児数の合計1,182人。 保育所の一人当たり面積3.26㎡/人となり、中間目標値(2.614㎡/人)、最終目標値(2.62㎡/人)を上回り目標達成。
	② 子どもに遊びを教える等のボランティア活性化	大学生等が子どもに遊びを教える等といったボランティア活動を活性化させるための支援	子ども向けボランティア活動回数	3回/年	4回/年	7回/年	28回/年	9回/年	4回/年	5回/年	6回/年	7回/年	8回/年	取組中	大学生がボランティアに参加しやすい夏休みにイベントを開催するなどの工夫をしたが、豪雨災害の影響もあり前年度より少ない実施となった。	9回/年	達成	【子ども向けボランティア活動回数】 児童センター(ハッピーズ0回・パンピーズ7回) 地域子育て支援センター2回(ひかり保育園1回・若竹保育園1回)の計9回開催。 中間目標値(7回/年)、最終目標値(8回/年)を上回り目標達成。
	③ 児童センター等の子どもの居場所整備	児童センター等が設置される(仮称)北部総合福祉施設の整備推進		完了	-													
	④ 「放課後児童クラブ(留守家庭児童会)」の充実	「放課後児童クラブ(留守家庭児童会)」を環境整備し、順次時間帯や対象学年の拡充	放課後児童クラブ利用児童数	※ 463人	-	574人	601人	677人	463人	509人	555人	601人	647人	取組中	夏休み中の受入れについて、昨年度と同じ時間帯(8時30分～18時)で継続して行っており、113人(夏期のみ)の人数、その他通年606人)の受入れを行った。 また、平成30年度に府中南小学校区に2支援単位増やすため、現在の放課後児童クラブの横に施設を新築した。	677人	達成	【放課後児童クラブ利用児童数】 (通年入会の最大値 ※夏季除く) 府小 低学年143人 高学年37人 計180人 南小 低学年135人 高学年32人 計167人 中央小 低学年139人 高学年30人 計169人 東小 低学年 61人 高学年21人 計82人 北小 低学年 68人 高学年11人 計79人 合計677人 中間目標値(601人)を上回り目標達成。
	⑤ 「放課後子供教室」の取組強化	「放課後子供教室」の定員増や開催日数増の取組強化	放課後子供教室の当選割合	※ 66%	-	73%	63.3%	71.6%	66.0%	71.5%	77.0%	82.5%	88%	取組中	例年申込者が多く抽選となっていることから、初参加の児童を優先する旨を募集チラシに記載したところ、申込者が減少し当選割合は上がったが、協力ボランティアの人数が限られており定員を20名に制限したため、未達成となった。そのため、今後は協力ボランティアを増員することで、定員を25名まで増員する予定である。	71.6%	未達成	【放課後子供教室の当選割合】 府小 申込者数33人 参加者数20人 南小 申込者数31人 参加者数20人 中央小 申込者数27人 参加者数20人 東小 申込者数17人 参加者数16人 北小 申込者数26人 参加者数20人 合計 申込者数134人 参加者数96人 当選率71.6%で中間目標値(82.5%)を下回り目標未達成。
	⑥ 質の高い教育の提供	ICT機器の導入や各種用具の配備などによる学校の授業やクラブ活動の実施環境の整備	学校の年間の県大会出場件数	41件	50件	62件	44件	37件	41.8件	42.6件	43.4件	44.2件	45件 (1割増)	取組中	平成30年3月に教職員用パソコンやパソコン教室の機器等を更新するとともに、さらに電子黒板を全校合わせて20台追加したことにより、平成30年度は学校ICT機器をさらに活用した。 また、府中町出身の著名人による中学生を対象とした志を育てる教育講演会の開催や職場体験、そして部活動充実のための用品購入など、質の高い教育の環境整備を行った。	37件	未達成	【学校の年間県大会出場件数】 府中中学校は、県大会14件、中国大会以上1件。 府中緑ヶ丘中学校は、県大会16件、中国大会以上6件。 合計37件であり、中間目標値(44.2件)を下回り、目標未達成。
	⑦ 地域の国際力を活かした小中学校英語教育の充実	府中町の国際力の活用に加え、ネイティブの外国語指導助手の配置拡大等や英語検定受験費用の助成	中学校卒業時の英検3級以上取得率	※ 13.2%	-	16.7%	27.7%	41.1%	13.2%	22.4%	31.6%	40.8%	50.0%	取組中	平成30年度も昨年度と引き続き、外国人講師を全校に配置し、英語授業の充実を図っている。 また、平成30年度から英語検定受験費用助成の対象に中学校第1学年を加え、全学年を対象としたほか、県指定事業「小学校外国語パワーアップ事業」及び「中学校外国語アップグレード事業」を受け、小中連携を図る中で、指導方法の工夫改善を図っている。 その他、府中町外国語パワーアップ研修を年3回実施したほか、町内の学校にも指導方法等の研修を行うことで普及啓発を行い、共通認識のもと目標達成を目指している。	41.1%	達成	【中学校卒業時の英検3級以上取得率】 3年生の卒業時の生徒数404人中、3級以上取得者数は166人であり、取得率41.1%で中間目標値40.8%を超え、目標達成。
	⑧ 子どもの医療費負担の支援	子ども医療費助成制度を幅広い子育て世代が利用できるよう改善	助成対象の子どもの推定数	3,242人	3,283人	3,511人	5,569人	5,769人	3,719.4人	4,196.8人	5,547人	5,588人	5,629人	取組中	平成29年度から入院・通院に係る子ども医療費助成制度の対象を小学校6年生まで、入院を中学校3年生まで拡大した。	5,769人	達成	【助成対象の子どもの推定数】 0歳456人、1歳513人、2歳502人、3歳499人、4歳469人、5歳499人、6歳456人(未就学児)、6歳～12歳(小学生)2,360人、中学生15人の合計5,769人となり、中間目標値(5,588人)を上回り目標達成。
	⑨ 子どもの感染症予防の推進	感染症の知識普及や新たな予防接種費用の一部助成	12感染症の年間発生件数	374件/年	323件/年	313件/年	259件/年	138件/年	366.4件/年	358.8件/年	351.2件/年	343.6件/年	336件/年 (1割減)	取組中	平成28年度からおたふくかぜと成人風しんの予防接種費用の助成を開始。平成30年度の任意予防接種実績として、おたふくかぜ918件、成人風しん102件を助成した。	138件/年	達成	【12感染症の年間発生件数】 前年度比46.7%減。現状値に比べても63.1%減であり、毎年減少傾向。 中間目標値(343.6件/年)、最終目標値(336件/年)を大きく下回り目標達成。
⑩ 不妊治療支援による希望する出産の実現	特定不妊治療に要する費用の一部助成	子育て世代女性100人あたり0歳児数	8.72人	8.74人	9.10人	9.47人	8.36人	8.822人	8.924人	9.026人	9.128人	9.23人	取組中	平成30年度の一般不妊治療費助成事業は19組申請あり。特定不妊治療費助成事業は体外受精14件、顕微授精54件、区分なし29件の計97件(延べ件数)申請あり。	8.36人	未達成	【子育て世代女性100人あたり0歳児数】 前年比11.7%減。 中間目標値(9.128人)を下回り目標未達成。	
子ども連れ家族の生活利便の向上	① 子ども連れ家族が移動しやすい歩行者空間整備	歩行者空間の整備	町内主要箇所の徒歩者等通行者数	2,056人	1,822人	2,250人	1,876人	1,957人	2,097.2人	2,138.4人	2,179.6人	2,220.8人	2,262人 (1割増)	取組中	平成30年度は、街路歩道の再整備や、通学路における道路の有効幅員拡幅等の空間改善を実施し、整備実績は約370mだった。	1,957人	未達成	【町内主要箇所の徒歩者等通行者数】 前年度比4.7%増。 中間目標値(2,220.8人)を下回り目標未達成。
	② 子育て支援店舗等(おむつ交換台設置店など)の支援	おむつ交換台設置等といった子ども連れ家族へのサービス提供店舗を示す店頭表示等												取組中	平成28年1月から子育て協賛店の登録、店頭表示用ステッカー配布を開始し、平成30年度末時点で50店舗の登録実績だった(前年度末時点45件)。			
	③ 公共施設等の子ども連れ利用の利便性向上	公共施設等へのベビーカー等配備												取組中	本庁舎・くすのき・福寿館・両公民館にベビーカーを配備し、さらに本庁舎にはベビーカー配備を継続中。また、おむつ交換台は、本庁・くすのきプラザ・福寿館・北交流センター児童センターに継続して配備中。			
	④ その他子ども連れ生活利便の向上	子どもを前後に乗せられる3人乗り自転車や保育所や幼稚園、認定子ども園を通じた貸出												取組中	保育所(5園×5台)、認定こども園(1園×6台)、幼稚園(5園×2台)の11施設に41台を配備し、各園を通じて貸出を実施。平成30年度末時点で貸出しは34台だった(貸出率約83%)。			
	⑤ 公共交通の利便性向上	「つばきバス」の一部ルート変更やバス停移設、バスロケーションシステムの導入やバス停シールドの設置												町営コミュニティバスの年間利用者数	187,298人			
子どもに伝える地域の魅力の向上	① 観光散策の環境整備	レンタサイクルサービスやパンフレット、散策マップの作製	レンタサイクルの年間延べ利用件数	0件	0件	446件	1,084件	1,042件	50件	100件	150件	200件	250件	取組中	平成29年度に「府中町観光マップ」を作成し、つばき館や駅など各施設に配置し、配布している。	1,042件	達成	【レンタサイクルの年間延べ利用件数】 中間目標値(200件)、最終目標値(250件)を大きく上回り目標達成。 利用者内訳は、町内居住者737件、外居住者305件。

※印はH27年度の値を現状値としたもの ※赤字は中間目標値に対して未達成のもの